

社会学専攻大学院生 業績・略歴一覧

[項目内容]

- [1] 論文（査読有。かつ単著かファースト・オーサーのもの）
- [2] 論文（上記以外の論文。本の手記執筆も含む）
- [3] 学会発表（海外・全国・地域の各学会）
- [4] 博論構想発表会での報告（専攻内もしくは同志社社会学研究学会）
- [5] 修士論文タイトル（未提出の人は予定タイトル）
- [6] 博士論文タイトル（あるいは研究テーマ。後期課程者のみ）
- [7] 非常勤講師、TA、チューターなど、教育・研究職歴
- [8] 調査報告書その他の執筆（社会調査実習報告書も含む）
- [9] 所属学会
- [10] 学歴・職歴その他

* 以下、課程別に入学年度および氏名のアルファベット順による。

[博士後期課程]

坂野 誠（バンノ マコト／Banno Makoto）

- [3] 2006 「民間人校長の研究——聞き取り調査をもとにして——」第58回日本教育社会学会（於大阪教育大学）
- 2008 「進学アスピレーションは加熱されるか（その1）——高等学校の習熟度別学習の取り組みから——」第60回日本教育社会学会（於上越教育大学）
- 2009 「進学アスピレーションは加熱されるか（その2）——高等学校の習熟度別学習の取り組みから——」第61回日本教育社会学会（於早稲田大学）
- 2010 「習熟度別クラス編成は何をもたらしたか——ある高等学校の習熟度別学習の取り組みから——」第69回日本教育学会（於広島大学）
- 2011 「高校生はなぜ勉強するのか——普通科中位校の調査から——」第70回日本教育学会（於千葉大学）
- 2011 「習熟度別クラス編成授業と進学アスピレーション——ある高等学校の取り組みから——」第18回日本子ども社会学会（於明星大学）
- 2012 「現代高校生の進学行動分析」第71回日本教育学会（於名古屋大学）
- 2012 「高校生の進学アスピレーションと学習行動」第64回日本教育社会学会（於同志社大学）
- 2014 「四年制大学進学希望の内実——3時点調査における変化——」第66回日本教育社会学会（於松山大学）
- [5] 「民間人校長の研究」（放送大学大学院修士論文）

- [6] 「習熟度別学習と進学アスピレーションについて」(2009 年度研究テーマ)
- [8] 2010 「PISA 調査から見た学習時間の研究——どのような生徒が勉強しないのか」尾嶋史章編『学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究 (第 2 次報告)』; pp.33-43 (科学研究費補助金 [基盤研究 (B)]「学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究: PISA データの分析を中心に」)
- 2013 「高校生はなぜ勉強するのか——階層構造と四大希望——」尾嶋史章・荒牧草平編『現代高校生の進路と生活——3 時点学校パネル調査からみた 30 年の軌跡——』; pp 145-156 (科学研究費補助金 [基礎研究 (B)]「社会的不平等の形成過程に関する比較社会学的研究」)
- [9] 日本教育社会学会、日本教育学会、日本子ども社会学会
- [10] 高等学校教諭
同志社大学大学院社会学研究科博士後期課程 (社会人) 入学 (2009)

田崎 俊之 (タサキ トシユキ/Tasaki Toshiyuki)

- [1] 2009 「伏見酒造業における酒造技術者の実践コミュニティ」『フォーラム現代社会学』関西社会学会 8 ; pp.105-19
- [3] 2008 「伏見酒造業における酒造技術者の実践コミュニティ」第 59 回関西社会学会大会 (松山大学) (関西社会学会大会奨励賞受賞)
- 2008 「実践コミュニティにおける多重成員性の問題——京都・伏見の日本酒製造業を事例に」第 81 回日本社会学会大会 (東北大学)
- [5] 「現代企業組織と企業横断型実践コミュニティ——伏見酒造業における酒造りの社員化を通して」(2009)
- [6] 「“わざ” をめぐる集団的学習プロセスの研究」(2010 年度研究テーマ)
- [7] 社会調査実習 (2006 河川充勇) TA
質的調査法 (2007-2008 西川麦子) TA
社会学演習Ⅲ (2009 鶴飼孝造) TA
- [8] 2010 「高校生の職業展望における地位達成志向と充足志向——地位尺度と価値尺度を通して」尾嶋史章編『学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究 (第 2 次報告書)』; pp.45-63 (科学研究費補助金 [基盤研究 (B)]「学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究: PISA データの分析を中心に」)
- 2010 「学科別集計にみる学科の特性と傾向」『第 1 回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会; pp.49-56
- [9] 日本社会学会、関西社会学会
- [10] 松山南高等学校卒業 (2002)
同志社大学文学部社会学科卒業 (2006)
同志社大学大学院社会学研究科博士前期課程卒業 (2009)

同志社大学大学院社会学研究科博士後期課程入学 (2009)

専門社会調査士 (2010)

日本学術振興会特別研究員 (DC 2、2010-1)

金 政芸 (キム ジョンウン / Kim Jeongwoon)

- [1] 2015 「外国人への寛容性と社会関係における多様性・親密性——JGSS-2008 のデータを用いて」『ソシオロジ』182 (掲載予定)
- [2] 2011 「ナショナル・アイデンティティと他国意識——自国への愛着・自国優越意識・自国特別意識と他国への好感度」『同志社社会学研究』15 ; pp.13-24
- [3] 2010 「ナショナル・アイデンティティの形成と他国認知——欧米とアジアに対する好感度からみた自国への特別意識と優越意識」第 83 回日本社会学会大会 (名古屋大学)
- 2012 「排外意識とパーソナルネットワーク——JGSS-2008 のデータから」第 63 回関西社会学会大会 (皇學館大学)
- 2014 “Tolerance toward Foreigners and Diversity and Familiarity on the Relationships with Other People : using JGSS-2008 Data” (The EHESS France-Japan Foundation Workshop “Towards French-Japanese research collaborations in social sciences”)
- [4] 「外国人への排外意識の規定要因」博論構想発表会 (2011)
「他者関係の構造と外国人への寛容性——JGSS-2008 のデータを用いて」第 19 回同志社社会学研究学会 (2013)
- [5] 「ナショナリズムを求める人びと——権威主義・他者との連帯・他国への嫌悪感からみたナショナリズムの構造」(2010)
- [6] 「ネーションへの愛着の研究——非排他的なネーションへの愛着をもつための条件について」(研究テーマ)
- [7] 「非常勤研究員」
 - 2013 公益財団法人 ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 研究調査本部 主任研究員 [非常勤講師]
 - 2011～ 神戸女学院文学部「社会統計学 (A)」(前期開講科目)
 - 2011, 2012 島根大学法文学部「情報科学演習」(夏期集中講義)
 - 2011～ 神戸女学院文学部「社会統計学 (B)」(後期開講科目)
 - 2012 神戸女学院文学部「社会調査計画法」(前期開講科目)
 - 2012 神戸女学院文学部「社会調査入門」(後期開講科目)
 - 2012～ 神戸山手短期大学「日韓比較文化論」(後期開講科目)
 - 2013～ 摂南大学「市場調査入門」(前期開講科目)
 - 2013～ 摂南大学「社会の仕組み」(前期開講科目)
- [TA]
2008 年度 「社会学演習Ⅲ (板垣竜太)」

- 2009 年前期 「社会調査入門 (尾嶋史章)」
- 2010 年度 「社会調査実習 (鵜飼孝造)」
- 2010 年度 「社会学演習Ⅲ (藤本昌代)」
- 2012 年度 「社会調査実習 (小林久高)」
- 2014 年度 「社会調査実習 (森川・中村)」
- 2014 年度 「社会学演習Ⅲ (尾嶋史章)」
- [8] 2010 「大学生の教育満足感と大学生生活充実感を高める諸要因」『第 1 回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会；pp.13-25
- 2010 小林久高・金政芸「ワードを使った論文作成法——KT 法の概要」『2009 年度社会調査実習報告書 (担当教員：小林久高)』；pp.281-98
- 2011 「大学生の論理的思考および説明能力の向上感の規定要因」『第 2 回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会；pp.1-9
- 2011 小林久高・山本圭三・金政芸・猿渡壮「社会調査のためのエクセル利用法」『同志社社会学研究』15；pp.77-96
- 2012 「女子大学生の採用コースを規定する要因」『第 3 回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会；pp.25-37
- 2012 「大学生の論理的思考および説明能力の向上感の規定要因」『2011 年度 社会学部 FD 研究会』同志社大学；18-25
- 2012 「Excel VBA を使用した入力データのチェックプログラム」『2011 小林実習報告書』pp.321-344
- 2013 山本圭三・金政芸・猿渡壮「Excel VBA を使用した入力データのチェックプログラム——Data Checker for Social Research」『同志社社会学研究』17；pp.51-74
- 2013 「大学および学部への愛着の規定要因」『第 4 回社会学部卒業時調査報告書』同志社大学社会学部；pp.59-72
- 2013 小林久高・金政芸・西岡暁廣・猿渡壮「ワードを使った論文作成法 (Word 2010 Ver.)」『2013 年度社会調査実習報告書 (担当教員：小林久高)』；pp.235-53
- 2013 小林久高・猿渡壮・金政芸・西岡暁廣・山本圭三「エクセル入門 (Excel 2010 Ver.)」『2013 年度社会調査実習報告書 (担当教員：小林久高)』；pp.255-83
- 2013 「大学および学部への愛着の規定要因」『2012 年度 社会学部 FD 研究会』同志社大学；24-30
- 2014 『過疎と都市への集中の両極化が進む中でのコミュニティづくり 研究調査報告書』公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 (コラム以外を執筆)
- [9] 日本社会学会、関西社会学会
- [10] 同志社大学文学部社会学科卒業 (2008)
- 同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程修了 (2010)
- 同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻後期課程入学 (2010)

専門社会調査士 (2011)

岡本 洋一 (オカモト ヨウイチ / Okamoto Yoichi)

- [2] 2011 「戦後日本における世代形成——消費社会と世代——」『同志社社会学研究』15 ; pp.43-56
- [4] 戦後社会の編成と構築される世代——団塊の世代を例に—— (博士論文構想発表会 2012)
- [5] 「近代化と団塊：世代連関〈未来への確信〉とその蹉跌——エンプロイ化とその規範としての〈努力〉からみる——」(2011)
- [7] 2003~2004 大阪産業大学非常勤講師 (人間環境学部「広告論」)
2012年度 社会調査実習 (丸山真央) TA
2013年度 社会調査実習 (時田アリソン) TA
- [8] 「社会調査実習」報告書 (2012)
「社会調査実習」報告書 (2013)
- [10] 同志社大学文学部英文学科卒業
広告会社勤務 (1974~2007)
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程修了 (2011)
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻後期課程入学 (2011)

猿渡 壮 (サルワタリ タケシ / Saruwatari Takeshi)

- [2] 2012 「基層的な連帯の感覚と投票への参加——投票参加の深層要因に関する試論的研究——」
『同志社社会学研究』16 ; pp.71-79.
2014 「幽霊と参加」『評論・社会科学』110 ; pp.1-19 (共著：小林久高・猿渡壮)
- [3] 2011 「投票参加の深層要因——儀礼的参加モデルの試論的検討——」(第84回日本社会学会大会)
2012 「若者におけるボランティア活動意欲の規定要因——集団への愛着と連帯経験を通じた社会化」(第85回日本社会学会大会)
2014 “An Empirical Analysis of the Effect of Social Ties on Volunteering” (The EHESS France-Japan Foundation Workshop “Towards French-Japanese research collaborations in social sciences”)
- [4] 「現代日本における社会的連帯と公共性の諸相」(博士論文構想発表会 2012)
- [5] 「投票参加の深層要因——儀礼的参加モデルの試論的検討——」(2011)
- [6] 「政治活動および社会活動に関する実証的研究」(研究テーマ)
- [7] [非常勤講師]
2011~2012 鳥根大学法文学部「情報科学演習」(夏季集中講義)
2011~ 京都女子大学現代社会学部「データ処理論Ⅱ」(秋学期開講科目)
2011~2014 大阪人間科学大学人間科学部「社会統計学」(秋学期開講科目)
2011~2014 大阪人間科学大学人間科学部「社会調査技術」(秋学期開講科目)
2012~ 京都女子大学現代社会学部「データ処理論Ⅰ」(春学期開校科目)

2012～2014 大阪人間科学大学人間科学部「社会調査実習」(通年科目)
2014～ 帝塚山大学文学部「現代社会のしくみ A」(春学期開校科目)「現代社会のしくみ B」(秋学期開講科目)

[TA]

2008 年度 社会学演習Ⅲ (Bruce White)
2011 年度 社会学演習Ⅲ (小林久高)
2011 年度 社会学演習Ⅲ (板垣竜太)
2012 年度 社会学演習Ⅲ (小林久高)
2013 年度 社会学演習Ⅲ (小林久高)
2014 年度 社会学演習Ⅲ (小林久高)、社会統計学 (小林久高)、情報社会学 (藤本昌代)

- [8] 2010 「大学生生活における諸経験と卒業生の将来展望」『第 2 回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会；p.51-64.
2010 「エクセル入門」『同志社大学社会調査実習報告書 2009 年度大学生社会意識調査』；pp.257-279 (共著：小林久高・猿渡壮・山本圭三).
2011 「就職活動が大学生生活にもたらす影響」『第 3 回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会；pp.39-48.
2011 「社会調査のためのエクセル利用法」『同志社社会学研究』15；pp.77-96 (共著：小林久高・山本圭三・金政芸・猿渡壮).
2012 「Excel VBA を使用した入力データのチェックプログラム——Data Checker for Social Research」『同志社社会学研究』17；pp.51-73 (共著：山本圭三・金政芸・猿渡壮).
2013 「大学生の職業的価値意識」『第 4 回社会学部卒業時調査報告書』pp.43-57.
2013 「ワードを使った論文作成法 (Word 2010 Ver.)」『同志社大学社会調査実習報告書 2012 年度大学生社会意識調査』pp.235-253.
2013 エクセル入門 (Excel 2010 Ver.)」『同志社大学社会調査実習報告書 2012 年度大学生社会意識調査』pp.255-283.
2014 「研究資料の検索と収集の基礎」『同志社社会学研究』18；pp.27-38 (共著：山本圭三・張曉霖・猿渡壮).
- [9] 日本社会学会、ソシオロジ、関西社会学会
- [10] 東京都立八王子東高等学校卒業 (2004)
同志社大学文学部社会学科社会学専攻卒業 (2008)
同志社大学大学院社会学研究科博士前期課程修了 (2011)
同志社大学大学院社会学研究科博士後期課程入学 (2011)
専門社会調査士 (2011)

本莊 雄一 (ホンジョウ ユウイチ/Honjo Yuichi)

- [1] 2012 本莊雄一・立木茂雄「大規模広域災害時における自治体間協力における考察——東日本大

- 震災時における神戸市職員派遣の事例から——』『地域安全学会論文集』No.18； pp.411-419
- 2013 本莊雄一・立木茂雄「東日本大震災における自治体間協力の「総合的な支援力」の検証——神戸市派遣職員の事例から——』『地域安全学会論文集』 No.19, p.51-60
- 2013 本莊雄一・立木茂雄「初動期から応急対応期における自治体による人的支援の規定要因に関する外的妥当性の研究——東日本大震災時に支援を受けた被災自治体による評価——』『地域安全学会論文集』 No.21, pp.89-98.
- 2014 本莊雄一・立木茂雄「被災市町村と応援行政組織やボランティア組織との連携・協働を促す受援計画の考察——東日本大震災を事例として——』『地域安全学会論文集』No 23, pp.21-31.
- [2] 2013 本莊雄一・立木茂雄「災害 NPO・ボランティアの受け入れの仕組みについての考察——国際協力 NGO の対応と国内 NPO の対応の比較——』『地域安全学会東日本大震災特別論文集』 No.2； pp.9-12
- 2014 本莊雄一・立木茂雄「東日本大震災における NPO 法人による被災地支援活動の有無に関する量的研究』『地域安全学会梗概集』 No 34, pp.19-22.
- 2014 Yuichi HONJO, Shigeo TATSUKI “The Causal Factors Effective Personal Support by Local Governments during Emergency Response and Relief after the Great East Japan Earthquake” Third international Conference Urban Disaster Redaction.
- 2014 本莊雄一・立木茂雄「東日本大震災における市町村レベルでの行政と NPO・NGO 等との連携のためのネットワーク組織の考察』『東日本大震災特別論文集』 No 3., pp.53-56.
- 2014 Yuichi HONJO, Shigeo TATSUKI “A study on the Disaster Network Organizations for Promoting Cooperation with Governments and NGOs/NPOs in the Cities, Towns, Villages after the Great East Japan Earthquake” 2nd Asia Conference on Urban Disaster Reduction.
- [3] 2012 本莊雄一・立木茂雄「大規模広域災害時における自治体間協力における考察——東日本大震災時における神戸市職員派遣の事例から——」地域安全学会秋季研究発表会（静岡県地震防災センター）
- 2013 本莊雄一・立木茂雄「災害 NPO・ボランティアの受け入れの仕組みについての考察——国際協力 NGO の対応と国内 NPO の対応の比較——」地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2013 in 大船渡（カメラアホール）
- 2013 本莊雄一・立木茂雄「初動期から応急対応期における自治体による人的支援の規定要因に関する外的妥当性の研究——東日本大震災時に支援を受けた被災自治体による評価——」地域安全学会秋季研究発表会（静岡県地震防災センター）
- 2014 本莊雄一・立木茂雄「東日本大震災における NPO 法人による被災地支援活動の有無に関する量的研究」2014 年度地域安全学会大会（総会・研究発表会（春季））（兵庫県立大学防災教育センター（人と防災未来センター東館 4 階））
- 2014 Yuichi HONJO, Shigeo TATSUKI “External Validity of the Causal Factors on Effective Personal Support by Local Governments during Emergency Response and Relief after the Great East

- Japan Earthquake” the DRC 50th Anniversary Workshop, in Delaware, the USA.
- 2014 Yuichi HONJO, Shigeo TATSUKI “The Causal Factors Effective Personal Support by Local Governments during Emergency Response and Relief after the Great East Japan Earthquake” Third international Conference Urban Disaster Redaction in Boulder, Colorado, the USA.
- 2014 本莊雄一・立木茂雄「東日本大震災における市町村レベルでの行政と NPO・NGO 等との連携のためのネットワーク組織の考察」地域安全学会東日本大震災 連続ワークショップ 2014 in 宮古市民総合体育館 シーアリーナ
- 2014 Yuichi HONJO, Shigeo TATSUKI “A study on the Disaster Network Organizations for Promoting Cooperation with Governments and NGOs/NPOs in the Cities, Towns, Villages after the Great East Japan Earthquake” 2nd Asia Conference on Urban Disaster Reduction in New Taipei City, Taiwan.
- [4] 「大規模災害時における自治体の支援・受援力の研究」博論構想発表会（2013）
- [6] 「大規模災害時における自治体の支援力・受援力の研究」（研究テーマ）
- [9] 地域安全学会、災害復興学会、日本計画行政学会
- [10] 兵庫県立神戸商科大学商経学部卒業（1973）
筑波大学大学院経営・政策科学研究科修士課程修了（1983）
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻後期課程入学（2013）

西岡 暁廣（ニシオカ アキヒロ／Nishioka Akihiro）

- [2] 2014 「厳罰意識の構造」『同志社社会学研究』18；pp.11-25
- [5] 「厳罰志向に関する社会学的研究——デュルケム社会学的観点による理論的・歴史的・実証的検討——」
- [7] [TA]
2011 年度 社会調査実習（小林久高）・社会調査実習（丸山真夫）
2013 年度 社会調査実習（小林久高）
2014 年度 社会調査実習（Miros Debnar）
[非常勤講師]
2013 島根大学法文学部「情報科学演習 A 1」（夏季集中講義）
2014 島根大学法文学部「情報科学演習 A 1」（夏季集中講義）
2014 摂南大学経営情報学部「市場調査実習」（通年科目）
- [8] 2013 「ワードを使った論文作成法（Word 2010 Ver.）——KT 法の概要」『同志社大学 社会調査実習報告書 21 2012 年度大学生社会意識調査』235-253 頁（共著：小林久高・金政芸・西岡暁廣・猿渡壮）。
- 2013 「エクセル入門（Excel 2010 Ver.）」『同志社大学 社会調査実習報告書 21 2012 年度大学生社会意識調査』255-283 頁（共著：小林久高・猿渡壮・金政芸・西岡暁廣・山本圭三）。
- [9] 関西社会学会

- [10] 名古屋市立菊里高等学校卒業
同志社大学社会学部社会学科卒業（2010）
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学（2011）

呉 仲元（オ ジュンウォン／Oh Joongwon）

- [5] 2009 「在日朝鮮人の民族意識について——京都朝鮮第二初級学校を中心に——」（龍谷大学大学院修士学位論文）
2014 「1950年代、京都における朝鮮人社会について——京都市田中地区を事例に——」（同志社大学グローバルスタディーズ研究科修士学位論文）
- [8] 2009 「書評：小熊英二・姜尚中編『在日一世の記憶』（集英社新書、2008）』『龍谷大学経済学論集』49(1)：69-71
2008 「書評：田中宏、板垣竜太編『日韓新たな始まりの20章』』『社協京都会報』10：58-60
2015 「田中地区の在日朝鮮人の概要」板垣 竜太 編『京都市田中地区の在日朝鮮人と民族教育』（同志社大学社会学部板垣ゼミ報告書）：pp.1-16
- [7] [TA]
2014年度「社会学演習Ⅱ」（板垣竜太）
- [10] 立命館大学経済学部経済学科卒業
居酒屋くれしま勤務（1982～1997）
京都朝鮮第2初中級学校勤務（1998～2001）
龍谷大学大学院経済学研究科博士前期課程修了（2004）
同志社大学大学院グローバルスタディーズ研究科博士前期課程修了（2014）
同志社大学大学院社会学研究科博士後期課程入学（2014）

落合世津子（オチアイ セツコ／Ochiai Setsuko）

- [3] 2000 「失語症意志表示カードの試み」第59回日本公衆衛生学会総会（群馬）
2001 「地域における失語症者への支援と課題——アンケート調査から——」第40回日本公衆衛生学会近畿地方会（大阪）
2008 「高齢妊娠への健康支援の課題——妊婦教室参加者のアンケート調査から——」第67回日本公衆衛生学会総会（福岡）
2010 「大阪府内における多胎育児サークル・教室の運営の現状と課題」第69回日本公衆衛生学会総会（東京）
2013 「多胎育児支援教育の検討」第72回日本公衆衛生学会総会（津市）
- [5] 「高齢者世話付住宅の安全性と安心性への一考察」（花園大学大学院修士論文）
- [6] 「多胎育児のソーシャルキャピタル形成を目指した多胎サークルと支援システムの構築を促進する要素（仮）」2014年度テーマ
- [7] 2009年度～2014年度 藍野大学医療保健学部看護学科教授（地域看護学・公衆衛生看護学）

- [8] 2000 「在宅失語症患者の地域リハビリテーションのあり方——患者・家族・市民の調査から」
(財)大同生命「第6回地域福祉研究助成報告集」
- [9] 日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本社会医学会、日本エイズ学会、日本高齢者虐待防止学会、日本双生児研究学会
- [10] 保健所保健師、短大教員、専門学校教員、大学教員
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程(後期課程)入学(2014)

[博士前期課程]

長谷川由利子 (ハセガワ ユリコ/Hasegawa Yuriko)

- [3] 2013 長谷川由利子・立木茂雄「災害時の個人情報提供への同意者・不同意者の特徴——京都府相楽郡精華町での災害時要援護者へのワークショップによる民生委員への質的社会調査をもとに——」(地域安全学会春季研究発表会)
- [5] 「婚活現象と現代家族のゆらぎ——「子育て」意識と「キャリア追求」意識」
- [7] [TA]
2013年度 社会学演習Ⅲ(1)－⑨(FABIO RAPHAEL GYGI)
2013年度 社会学演習Ⅲ(2)－⑤(森川 眞規雄)
2013年度 災害社会学(立木茂雄)
2013年度 家族社会学(立木茂雄)
- [10] 私立滝川第二高等学校卒業(2009年)
神戸学院大学経済学部入学(2009年)
神戸学院大学経済学部退学(2010年)
同志社大学社会学部社会学科転入(2010年)
同志社大学社会学部社会学科卒業(2013年)
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学(2013年)

池田梨恵子 (イケダ リエコ/Ikeda Rieko)

- [5] 「看護系大学卒業者の資格取得後のキャリアパス——トップクラス看護系大学卒業者を事例として——」(2014)
- [7] [TA]
2013年度 社会調査実習(藤本昌代)
2013年度 社会学演習Ⅲ(藤本昌代)
2014年度 社会学演習Ⅲ(藤本昌代)
- [8] 2013「社会調査実習報告書」
- [10] 京都大学医学部保健学科看護学専攻卒業(2010)
同志社大学社会学部社会学科卒業(2012)

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学（2013）

藍 柏喬（ラン ハクキョウ／Lan Po Chiao）

- [5] 台湾における客家文化とアイデンティティ——屏東昌隆の伯公信仰「新灯祭」を事例に——
- [7] [TA]
2013年度「社会学研究法 A（藤本昌代）」
2013年度「社会心理学（小林久高）」
- [10] 台湾慈济大学専攻東方言語学士取得（2006）
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学（2013）

李 文（リ ブン／Li Wen）

- [3] 2014 「中国人留学生の友人関係——集団意識と SNS 利用」, 第 65 回関西社会学会（富山大学）
2014 「日中学生間の友人形成に関する理論的・実証的研究」, 第 87 回日本社会学会（神戸大学）
- [5] 「中国人留学生の友人関係——ネットワークングの視点から」
- [7] [TA]
2013年度「社会学概論（鶴飼孝造）」
2013年度「社会学理論（鶴飼孝造）」
- [9] 日本社会学会、関西社会学会
- [10] 北方工業大学（中国）広告学科卒業（2009）
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士前期課程入学（2013）

野々村元希（ノノムラ モトキ／Nonomura Motoki）

- [2] 2015 「漱石とデュルケム——個人主義をめぐって」『同志社社会学研究』（本号）
- [5] 「デュルケムの道徳的個人主義について」（2014）
- [6] 「現代社会における自由と連帯の諸相——デュルケムの思想を中心に」（研究テーマ）
- [7] [TA]
2013年度「社会学演習Ⅱ（西丸良一）」
2014年度「社会学演習Ⅰ（DEBNAR MILOS）」
2014年度「社会調査実習Ⅰ（小林久高）」
- [9] 関西社会学会、デュルケム／デュルケム学派研究会
- [10] 岐阜県立岐阜北高等学校卒業（2009）
同志社大学社会学部社会学科卒業（2013）
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士前期課程入学（2013）

鄭 鈺梅（テイ ギョクバイ／Zheng Yumei）

- [5] 「中国朝鮮族社会の変化と移動に伴う家族儀礼の継承と変容——延辺州琿春市の事例を中心に

——」

[7] [TA]

2014年度「社会学演習Ⅲ（森川真規雄）」

[10] 中国青島農業大学日本語学科 文学学士取得（2012）

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学（2013）

周 越（シュウ エツ／Zhou Yue）

[5] 「日本における中国人研修・技能実習生についての研究——福井県の事例調査を中心に」

[7] [TA]

2013年度「地域社会学（鯨坂学）」

[10] 西安外国語大学日本語学科文学学士取得（2012）

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学（2013）

堅田 恵（カタダ メグミ／Katada Megumi）

[5] 福島県会津地方における潜在化する原発事故被害

[10] 同志社大学法学部政治学士取得（2013）

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学（2014）

大瀬 祥子（オオセ ショウコ／Ose Shoko）

[7] [TA]

社会調査実習（2014 西丸良一）

[10] 同志社大学社会学部社会学科卒業（2014）

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学（2014）

劉 碩（リュウ セキ／Liu Shuo）

[5] 「Iターン者による過疎地域活性化の可能性——グリーンツーリズムとの関わりを巡って——」（予定）

[7] 2014年度「地域社会学（鯨坂学）」[TA]

[10] 湖南大学外国語学部日本語学科 文学学士取得（2013）

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学（2014）

沈 亜平（シン アヘイ／Shen Yaping）

[10] 湖北大学外国語学部日本語学科 文学学士取得（2013）

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学（2014）